

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	看護教育質保証に向けた取り組みと人材育成・リカレント教育の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・教授・学部長	氏名	太田 尚子
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授・研究科長	氏名	山田 紋子
		所属・職名	看護学部・教授・副学部長	氏名	林 みよ子
		所属・職名	看護学部・教授・看護実践教育研究センター長	氏名	荒井 孝子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	井上 健一郎
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	藤田 景子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	田中 範佳
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	篁 宗一
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	山下 早苗
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	畑中 純子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	富安 眞理
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	操 華子
	発表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	太田 尚子

講演題目	看護教育質保証に向けた取り組みと人材育成・リカレント教育の推進
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>令和4年度、看護学部では、質保証委員会を7回開催し、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・マップの再検討、カリキュラム評価方法の検討、看護学部シラバス枠組みの修正に取り組んだ。ディプロマ・ポリシーと評価との一貫性を高めるため、外部の専門家による研修及びコンサルティングを受けながら検討を重ねた。次年度は、ディプロマ・ポリシーを多面的に評価する方法を検討していく。</p> <p>看護学研究科においては、内部質保証に関するFD研修会を実施した。第1回は外部の専門家による講義、第2回はグループワーク形式にてカリキュラム評価について検討した。また、これまで策定あるいは改正してきた「教育目標・三つのポリシー」、「カリキュラム・マップ」、「コースツリー」、「シラバスレイアウト」、「達成度評価」に関して専門家による外部者評価を受けた。結果、概ね高評価であったが、4点について改善推奨や助言を受けた。次年度以降さらに検討していく予定である。</p> <p>看護実践教育研究センターでは、2年目となる特定行為研修を開講して2名の二期生が修了した。その他、リカレント教育として「看護職のための看護基礎セミナー①②」を新たに開講し、また一般市民向けの健康講座「イキイキと高齢期を過ごそう！」等を実施した。</p> <p>看護学部・看護学研究科・看護実践教育研究センターのカリキュラムやプログラムを滞りなく進行するにあたっては、事務作業を担う学部長/研究科長の秘書雇用、教員の事務作業負担を軽減するためのアルバイト雇用が必要であり人件費を支出した。秘書には、教育の質保証の評価に必要な授業評価アンケート、実習評価アンケート、また、今年度の学部・研究科の活動を「学部・研究科報」にまとめる編集作業等を担当いただいた。さらに、教育環境の整備として、学部教育における学内演習で必要となっている備品等を購入した。</p>